

品川区立学校における主権者教育について

令和元年6月24日
品川区立教育総合支援センター

ねらい

各学校において、児童・生徒が政治や選挙に関する理解を深め、我が国や地域の課題を理解し、課題を多面的・多角的に考え、自分なりの考えを形成していくとともに、根拠をもって自分の考えを主張しつつ、他人の考えに耳を傾け、合意形成を図っていくことができるよう、主権者教育の充実を図る。

社会科および市民科学習における主権者教育

	小学校・義務教育学校（前期課程）	中学校・義務教育学校（後期課程）
社会・公民	<6年生> 「暮らしの中の政治」（全14時間） (1) 人々の願いをかなえ、社会の問題を解決するために、政治はどのようなはたらきをしているのだろうか（8時間）。 ・政治が国民の健康で文化的な生活を送るために大切なはたらきをしていることへの理解 ・国民が政治に関わることの大切さ ・憲法の基本的な考え方および社会を構成する一員としての自覚 (2) わたしたちの暮らしと憲法は、どのようにつながっているのだろうか（6時間）。 ・日本国憲法の三原則や基本的人権について ・国会や内閣、裁判所のはたらきについて	<9年生 公民> 第1章「わたしたちの暮らしと現代社会」 第1章第3節「わたしたちがつくる社会」（全4時間） ・社会におけるきまりの意義について ・社会集団における物事の決定の仕方について 第2章「人権を尊重する日本国憲法」 第2章第2節「憲法が保障する基本的人権」（全11時間） ・法の意義、政治の意義について ・自由権、平等権、社会権、参政権等について 第3章「私たちの暮らしと民主政治」 第3章第1節「民主主義と日本政治」（9時間） ・議会制民主主義について ・国会の選挙や政党、世論について ・国会の種類や役割、国会議員について ・内閣の役割や議員内閣制について 第3章第3節「地方自治と住民の参加」（全5時間） ・地方自治の意義と地方公共団体の仕事と仕組みについて ・地域の自立と課題について ・市民オンブスマンについて
市民科	<1・2年生>（全4時間） 18「みんなの考えを生かしてよりよいクラスに」 <3・4年生>（全12時間） 10「話し合っ、解決しよう」 21「学級会を開こう」 27「みんなといっしょに生きている」 <5・6年生>（全16時間） 17「賛成・反対の立場をはっきりさせよう」 22「みんなでつくろう学級会」 23「学校における自治的活動～委員会活動～」 38「地域と連携した活動計画づくり」	<7年生>（全12時間） 10「市民としての義務と責任」 25「学校における自治的活動～生徒会活動～」 34「実社会での法やきまり」 <8・9年生>（全28時間） 2「社会の現象と自分のかかわり」 5「集団の一員として」 11「自治組織」 12「地方自治への施策提案」 14「法やきまりの価値」 25「地域社会への貢献」 26「社会の一員としての活動」

実践事例

○「学校における自治的活動～委員会活動～」

品川区立山中小学校6年生

単元名「学校をよりよくする活動を自分たちでつくろう！」

★ねらい：学校生活を成り立たせるために必要な仕事を責任もって行うことの大切さを知ると同時に、学校をよりよくする活動を自分たちで考え、成果があがるよう工夫して実行する力を育てる。

★学習の流れ：

- ①学校生活を成り立たせるために必要な仕事（当番活動）について知る。
- ②当番活動を入れながら、学校をよりよくするための新しい活動・委員会について話し合い、決定する。
 - ・学校の「もっとよくしたい所」「直したい所」から目標を設定する。
 - ・目標を達成するための方法（＝活動）について考え、話し合う。
- ③上記①②で決定した委員会に所属し、委員会メンバーで内容を決定する。
 - ・具体的な活動内容や、成果を確かめるための評価方法について話し合う。
 - ・計画を実現できるよう、担当の先生や関係する方々にプレゼンをしたりアドバイスをもらったりして、活動内容を決定する。

（→児童会活動へ。5月に委員会紹介、3月に成果報告を全校集会として行う。）

※話し合いで決定した委員会

- ・ECO ガーデン ・クリーン ・フレンド ・スポーツ
- ・健康促進青空 ・山中報道局 ・山中図書&言葉

○模擬選挙

品川区立宮前小学校5・6年生

単元名「宮前小学校出前選挙」※立正大学法学部と連携した学習

★ねらい：将来の有権者として政治意識を高め、選挙に参加する態度を育てる。

★学習の流れ：

- ①選挙についての基礎知識を学習する。
- ②立候補者3名（大学生）の選挙公報＝マニフェストをもとに、選挙公約についてグループで意見を出し合い、全体で発表する。
- ③立候補者による立会演説を聞き、質問する。
- ④投票の流れを知り、投票作業を行う。
（投票者としての作業と、選挙を運営する職員としての作業の両方を体験する。）
- ⑤開票の流れを知り、開票作業を行う。
- ⑥開票結果について、グループで話し合う。

23 学校における自治的活動～児童会活動～ 学校における自治的活動の在り方

【ステップ1】
○自分の所属していない委員会の活動について、知っていることを発表させる。

○各委員会について、活動内容や今後やってみようなどについて、学級の子どもにも調査しまとめたものを掲示する。

○今までの経験を振り返り、その委員会にしておよかったこと、楽しかったことなどを発表させる。

【ステップ4】
議題箱を校内のいくつかの場所に設置し、いつでも全校児童が投稿できるようにする。設置する際には、どのようなことを書けばよいか全校に呼びかけたり、ポスターを掲示したりして、書く内容を全校に周知できるようにする。また、議題箱選定後は、書いてくれた子どもにどのように解決するか返信するなど、一人一人の思いや願いを大切にします。

【ステップ2】 代表委員会には、主に、各委員会の代表、高学年の学級代表、議題の提案者、必要に応じてクラブ代表が参加する。計画委員会は、代表委員会での話し合いを円滑に進めるために、事前に話し合いの計画・準備などを行う。

【ステップ2】 代表委員会や委員会は、全校が楽しく生活できるように、校内の仕事を手伝ったり、諸問題を解決したりする役割を担っていることを理解させる。主に高学年の子どもで構成されているものであるから、高学年の自主的な行動やリーダー性が重要であることを伝え、責任感をもたせる。

【ステップ3】
○各委員会の活動は、あらかじめ決まっている仕事や活動がある場合もあるが、自分たちで活動を工夫していくことが大切であることを伝える。

○以前にどのような活動が自分の委員会でなされていたか、先輩にインタビューしたり、記録を探したりしてもよい。

○どのような活動をしてほしいか全校にアンケートをとったり、いくつかの委員会が連携して取り組みを行ったりすることよいことを伝える。

（連携した活動例）
・保健委員会の休み時間への起き方調べをもとに、運動委員会が遊具や道具の使い方についてのポスターを作成する。
・飼育委員会と掲示委員会で、飼育小屋のうさぎの絵コンクールを実施し、校内に掲示する。
・図書委員会が作成したお薦めの本紹介を、放送委員会がお昼の放送で流す。 など

23 学校における自治的活動～児童会活動～

児童会活動は、自分たちで考え、協力しながら取り組むことが大切である。

児童会活動の組織について理解しましょう。代表委員、委員会の役割を理解させよう。自分たちで計画を立て、討論的に話し合い、この大切さを理解しましょう。

代表委員会の役割

代表委員 書記 学級代表 クラブ長

トレーニング

代表委員会活動の役割を調べよう。

委員会の活動の役割を調べよう。

実践・活用

児童会は、全校児童のためのものです。

まとめ・自己評価

代表委員会と自分のつながりについて理解させよう。記録の一員として、役割と責任を果たすことができましたか。

【ステップ4】
児童会活動は、学校の全校児童で組織されているということをおさえる。そのため、代表委員会に学級代表が参加していない学年には、代表委員会の活動内容が伝わるようにしたり、その学年の子どもの意見も反映できるようにしたりする必要があることを理解させる。

【ステップ5】
年度末には、自分たちの委員会のその年の活動内容や反省などをまとめ、次年度以降の各委員会の活動の参考材料とする。

5・6・7年生

12 地方自治への施策提案 これからの地方自治についての施策提案

【ステップ1】
○広報紙やポスターを取寄せせ、そこから施策について調べさせる。特に広報紙については、地域センターなどに行けば取寄せできることを伝えておく。また、ホームページを参照してもよい。

○品川区の基本構想を貫く3つの理念のうち、「区民と区との協働で、「私たちのまち」品川区をつくる」の「協働」とは、区民と区とが互いに知恵や力を出し合うことを意味する。
・自助は、自分でできることは自分でする。
・公助は、税で役所が行う、という意味である。
「協働」とは、自助・公助をきちんと行いながら、公助ははぐくんでいこうという考えである。

「施策」とはどういう意味かを理解させてから、授業に入る。「しやく」と読むのが正しい。政治の世界で「しやく」と読んでるのは、「試作」と区別するためらしい。「私立」「市立」を区別するために、「わたくしりつ」「いちりつ」と読んで相手に伝えるのと似ている。

【ステップ3】
<http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/>
品川区ホームページに予算配分などの計画があるので、それを参照させるとよい。

【ステップ3】
品川区の施策の特徴を知るためにも、他の区の施策についても調べ、その違いを列挙させる。そこから、品川区のよいところと、改善すべきところを考えさせる。

条例はホームページを参照する。

【ステップ4】
自分たちの住んでいる品川区の政治を、日常から知ろうとすることが大切である。区の広報紙などを継続して教室に掲示するなどしておくこと。

【ステップ5】
一人一人が施策のどの部分を知ることができたかを明らかにさせる。自分の生活に役立っていることが理解できた部分について発表させる。

8・9年生

12 地方自治への施策提案

わたしたちが住んでいる品川区の課題について、自分なりの施策を提案することができる。

ステップ1 わたしたちの品川区はさまざまな施策を行っています。あなたは次のようなお悩みを見ることがありますか。

ステップ2 自分たちが、社会をつくっていくという意識をもつことが大切である。

ステップ3 わたしたちの品川区を知るために、区のホームページを調べよう。テーマ「わたしたちの品川区は、どのような特徴をもっているのだろうか」。

ステップ4 自分で調べてみよう。品川区の高層ビル、わたしたちの品川区に暮らしているまちづくりについて調べてみよう。

ステップ5 グループで議論をまとめてみよう。グループ内で自治、福祉、環境、産業、教育などの分野別に、品川区の課題を見つけ、よりよいまちづくりを実現するための自分たちの提言をまとめてみよう。

品川区

品川区の施策について詳しく知ることができたか。品川区が取り組んでいる施策が、わたしたちの生活にどのように役立っているかについて知ることができたか。よりよいまちづくりを実現するための自分たちの提言をまとめたか。

日ごろ生活をしていて課題だと思うことを挙げさせ、その改善策が施策にあるかどうかを調べると、より意欲を引き出すことができる。

区民として区政に関心をもつことが、よりよいまちづくりに重要であることをおさえたい。興味をもつことは、広報紙を読む、HPを確認するなど、具体的な行動につなげられるようにする。

ねらい▶▶▶ 学校内の役割を理解し、発想を生かし、創意工夫して自主的に活動を行い、責任感をもって取り組むことができる。また、代表委員会の意義を理解し、自分の考えをもって進んで代表委員会の活動をすることができる。

- 3時間扱い**
- ステップ1 【課題発見・把握】**
- 各委員会の活動内容をもとに、委員会の役割に気付かせる。
 - ※各委員会の活動内容を発表し合い、各委員会が学校生活を支えていることに気付かせる。
- ステップ2 【正しい知識・認識 価値/道徳的心情】**
- 児童会活動では、自分たちで考え、工夫して実践していくことが大切であることを理解させる。
 - ※代表委員会や委員会の組織の位置付けや、学校生活における役割について考えさせる。
 - ※代表委員会、委員会の役割を確認し、自分たちの活動が学校を支えていること、工夫によって学校生活をよりよくしていくことができることに気付かせる。
- ステップ3 【スキルトレーニング/体験活動】**
- 代表委員会や委員会の仕事を、より自主的に工夫のある活動にさせる。
 - ※代表委員会や委員会の年間計画や活動内容を調べること、役割を確認し、工夫できることを探させ、実践のめあてを立てる。
- ステップ4 【日常実践/活用】**
- 自主的に活動したり、工夫したりしていきよさを確かめさせる。
 - ※「ステップ3」で計画したことを、代表委員会や委員会活動で実践する。
 - ※全校の児童の思いや願い、困っていることを募り、代表委員会で解決したり、委員会で取り上げたりし、全校のことを考えた活動を工夫させていく。
- ステップ5 【まとめ/評価】**
- 学習の意義と成果を振り返らせる。
 - ※自分の成長を振り返り、各委員会によかったことや楽しかったことを伝える。
 - ※後輩によさを引き継ぐことも役割の一つであることを伝え、今後の活動への意欲をもたせる。

- 解説**
- ★この単元では、自分たちが行っている委員会活動全体を見直し、全校児童が豊かな学校生活を送るために委員会活動があることを理解させ、自ら進んで活動できるようにしたい。
 - ★学校生活を豊かにしたり、学校全体の諸問題を解決したりすることが、代表委員会の目的や活動内容であることを理解させ、代表としての自覚と責任をもたせるようにしたい。
 - ★委員会活動は、授業時間で実施しない。全教員で担当の委員会を指導する。委員会活動で育成する力、本単元の実施時期、指導内容などを全教員が理解していなければならない。本単元の指導計画は、市民科全体計画とともに全教員に提示し、各担当から各委員会での具体的な指導計画(子どもの活動計画ではない)の提出を求めるなど、周知の方法を工夫する必要がある。
- 評価の観点**
- ◆児童会活動では、自分たちで考え、工夫して実践していくことが大切であることが理解できたか。また、目的や活動内容・方法を理解できたか。
 - ◆委員会や代表委員会で、全校のことを考えた活動や提案をして、実行することができたか。

●はねらい、※は学習活動・手だてを示す。

これらの単元をとおして、自分の生活や学校、地域をよりよくしようとする意識や態度、そのための話し合いの技術等を段階的に学んでいく。

ねらい▶▶▶ わたしたちが住んでいる品川区の課題について、自分なりの施策を提案することができる。

- 4時間扱い**
- ステップ1 【課題発見・把握】**
- 自分たちのまちでは、どのような施策が行われているのかを確認させる。
 - ※自分たちのまちの施策に関する知識について、実態と課題を考えさせる。
 - ※自分たちの生活に関連したものを取り上げさせる。
- ステップ2 【正しい知識・認識/価値/道徳的心情】**
- 自分たちが社会をつくっていくという意識をもつことが大切であることを理解させる。
 - ※「品川区基本構想」で目指す考えについて、話し合わせる。
 - ※予算配分、計画などの情報を提供する。
- ステップ3 【スキルトレーニング/体験活動】**
- 教科書の手順にそって、自分たちのまちの施策を知る。また、その方法を身に付けさせる。
 - ※個人やグループによる調べ学習をさせる。
 - ※よりよいまちづくりを実現するための自分たちの提言をまとめさせる。
- ステップ4 【日常実践/活用】**
- 自分たちのまちの施策と自分たちの生活とのつながりを知る。
 - ※日常的に区の広報紙を読ませる。
- ステップ5 【まとめ/評価】**
- 学習の成果を振り返り、日常実践への意欲をもたせる。
 - ※調べた施策が日常生活に生かされていることについて発表させる。
 - ※区の施策を知るために行ったことを、日常でも続けていくことが大切であることを教える。

- 解説**
- ★自分たちの住むまちの一員として、まちの施策について正しい知識や理解を深め、よりよい市民としての態度を養うことが大切である。日常的に行政の取り組みについて興味・関心をもたせ、よりよいまちづくりの実現のために自分の意見をもつなどの積極的な姿勢をもたせたい。
 - ★関心をもつことが、まちづくりに参加する第一歩であることを教える。関心をもつことの大切さだけでなく、それが具体的な行動に表れなければならない。その方法を身に付けるために、調べ学習、施策提案を材料に学習を進めていく。
- 評価の観点**
- ◆品川区の施策について具体的に理解できたか。
 - ◆品川区が取り組んでいる施策が、自分たちの生活にどのように役立っているか理解できたか。
 - ◆よりよいまちづくりを実現するための自分の意見をもつことができたか。
- 参考情報**
- 品川区ホームページ
 - 広報しながわ

●はねらい、※は学習活動・手だてを示す。

参考資料 <宮前小模擬選挙(2・19):マニフェスト作成のための聞き取り調査メモ>

調査日：平成 30 年 12 月 14 日（金）
（作成：立正大学 法学部 西谷 尚徳）

- 1) 3つのマニフェストを作成するにあたり、それぞれの差別化を図りたい。
- 2) A・B・Cグループの差別化のためには、メモ（参考情報）を3つに分けてそれぞれのグループで異なった情報を共有するのが良いか。
- 3) それぞれのグループが主公約となる情報をもとに、マニフェストを作成されたい。なお、保有のメモは主公約であり、多少のアレンジは良い。
- 4) 保有したい情報（群）を各グループで分けられたい。

【_____：住環境】

- ・マンションが多い
- ・交差点が多い
- ・ファミレスにWi-Fiつけて
- ・防犯“ゼロ”の街へ
 - 行政が各家庭に配慮
 - そのためにお金をかける
- ・ごみ収集所を整備（美化）、管理徹底
 - ごみ袋の有料化
- ・飛行機が低空飛行で騒音うるさい
- ・道が狭く行き止まりが増えた
 - 商店街、裏道の道幅を広くしてほしい
 - 消防車がなかなか入れない
- ・バリアフリー化の整備
 - 信号待ちのときに、音が鳴る信号が少ない
 - 増やせば事故さらに防止できるのでは？
 - 車椅子用などのスロープ
- ・不審者対策
 - 警備員の設置、防犯ブザーの配布
 - 街灯を増やしてほしい
- ・道路（交通）、商店街など交通を整備

【_____：公共施設】

- ・きれいではないため、使用しづらい
- ・トイレがとにかく汚い（公園等）
- ・「文庫の森」充実にお金を
 - 福祉・介護の充実化
- ・高齢者、障害者にやさしい街
 - 点字ブロックが少ないから増やす
- ・ゴミの不法投棄やポイ捨て
 - 戸越独自の条例を作る
 - 千代田区のたばこポイ捨てに罰金がある
- ・もっと図書館を増やしてほしい
 - 品川図書館のような大きな図書館
 - 美術館をつくってほしい

→公園をもっと広くしてほしい

- ・4年生、5年生、6年生の中から議会を
- ・学校の中専用のお金(硬貨、紙幣)を
- ・学費や治療費をずっと無料に
- ・木や池を増やしてほしい（緑化対策）
- ・交番を増やしてほしい
- ・地震や火事が起こったときの避難所
- ・ベンチを増やしてほしい

【_____：生活事情】

- ・スーパー（青果商店）が少ない：3つくらい？
 - 魚、肉、八百屋は揃っているが。
 - 野菜の買える場所が少ない
- ・商店街が汚い
 - ボランティアできれいに（美化）
- ・本屋が一件しかない
- ・タクシー利用が不便
- ・商店街の治安の悪化
 - 自転車の交通マナーの悪さ
 - ゴミ・嘔吐物など美化
- ・警備員に警備してもらいたい

【_____：行楽・娯楽施設】

- ・公園が充実されていない
 - 2020年に取り壊しが決定、反対である。
 - 公園を新たに建設、整備。
- ・ゲームセンターを増
 - 小の高学年、中学生の遊ぶ場所を充実化
- ・ペットショップを増
- ・「ステューデントシティ」という職業体験をさらに活性化・充実化
 - 施設を作って中高生も利用可能に
 - 「キッザニア」の戸越バージョン？
 - 現実的な職業体験施設を建設
- ・公園ではボール禁止
 - 遊ぶ場所が少ない

【_____：税金】

- ・消費税を下げて

【_____：国際交流】

- ・ユニセフへの募金や活動を積極化
- ・海外からの受入れに資金投入
 - 国際的な文化交流などを活性化
 - 「まもるっち」ならぬ「ポケットーク」を無料で配布

【_____：イベント充実】

- ・子ども用のイベントを増やす
 - お菓子を配る（ハロウィーン？）
- ・福引的な景品が当たるイベントを増
 - 台場でのイベントを参考に